

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2007年 2月

IEC/TC89 (耐火性試験) スtockホルム会議

IEC/TC89 の国際会議が 2006 年 10 月 23 日～27 日まで、スウェーデンのストックホルムで開催された。参加国は米国、英国、ドイツ、フランス等 12 か国で、総勢 30 名の参加があった。日本からは、IEC/TC89 国内委員会の吉田委員長 ((独) 海上技術安全研究所)、深谷委員 ((社) 電線総合技術センター)、香月委員 ((独) 製品評価技術基盤機構) 及び乾 (帝人化成(株)) の 4 名が参加した。

23 日には、セミナーが開かれ、TC89 の活動内容、EU の火災安全ネットワーク、UL の概要などが紹介され、IEC/UL の調和などに関するパネルディスカッションが行われた。

TC89 の会議は、ストックホルム郊外シースタ (Kista) の SEK(スウェーデン電気規格委員会) 会議室で行われた。会議は WG12 (着火と燃焼の広がり)、WG11 (燃焼生成物)、WG10 (ガイダンス)、議長諮問会議 (CAG) 及び TC89 全体会議の順で進められた。各 WG のトピックスをプラスチックに関係のあるテーマを中心に以下に述べる。

1. WG10 会議 (ガイダンス)

(1) IEC/CD(委員会原案) 60695-1-30 (プリセクション)

材料や部品の耐火性を試験して予備選択 (プリセクション) し製品での耐火性試験を省略することを目的としたもので、各国のコメントの検討が行われた。ベルギーから技術的な反対があったが、審議の結果、CDV(投票用委員会原案)を作成する合意が得られた。

2. WG11 会議 (燃焼生成物)

(1) IEC/CD 60695-8-1 (発熱一般指針)、8-2 (試験方法)、8-3 (絶縁油の試験方法)

第 1 版 (JIS C 60695-8-1 が一致規格) が改訂され、HRR (Heat Release Rate) や FIGRA (Fire Growth Rate) などの評価法が詳細に規定される。8-1 は CDV、8-2 は DTR(技術報告書原案)投票、8-3 は DTS(技術仕様書原案)投票に進むことが決まった。

(2) IEC/TC108 DTS 62441 (ローソクの貫き火)

WG11 は、TS(技術仕様書)ではなく PAS (公開仕様書) とすべきとの意見である。

3. WG12 会議 (着火と燃焼の広がり)

(1) IEC/CD 60695-1-20 (着火性に関するガイダンス)

各種の着火についての原理を解説したもので、CDV 投票に進むことが決まった。

(2) IEC/CD 60695-1-21 (着火性試験の概要と適用)

各種着火性の解説とその適用について解説したもので、CDV 投票に進むことが決まった。

(3) IEC/CD 60695-2-10 (グローワイヤ試験—装置及び共通試験方法)

製品の種類・使用状態ごとの適用試験温度が決まらず、2007 年 2 月に再度プロジェクト・チームで検討することになった。再現性検討のための国際ラウンドロビン試験を行うことが決まった。候補材料として、PA (6 又は 66) と PC があがっている。

(4)IEC/CD 60695-2-11 (最終製品のグローワイヤ燃焼性試験方法)

製品試験と材料試験 (GWFI: グローワイヤ燃焼指数/GWIT: グローワイヤ着火温度) に分けて温度の適用を記述する案を作成し, PWI(予備業務項目)段階に戻して審議することが決まった。

(5)IEC/CD 60695-2-12 (材料のグローワイヤ燃焼性試験方法), IEC/CD 60695-2-13 (材料のグローワイヤ着火性試験方法)

いずれも, 試験片の厚さと熔融落下の有無の明記を加え, CD 投票に進むことが決まった。

(6)IEC 60695-11-2 (1 kW 試験炎とガイダンス)

フランスから, プロパンガス純度を 98%にすると高価になる問題点が指摘された。国際ラウンドロビン試験を行って確認する。

(7)IEC/CD 60695-11-11 (火炎からの熱流束による着火性試験): 本規格は日本提案。

炎に直接接触しないで熱輻射による着火性を試験する方法。各国コメントを検討し, 許容誤差を記入した図への変更, 用語の統一などを行った。3rd CD に進めることが決まった。

4. その他

議長及び事務局で, horizontal function, safety pilot function 及び basic safety publication に関して明確にする。

次回の会議は 2007 年 5 月 30 日, 31 日に, イギリスのロンドンで開催される予定である。

報告: 日本プラスチック工業連盟 電気安全・規格委員会派遣 乾 泰夫 (帝人化成(株))